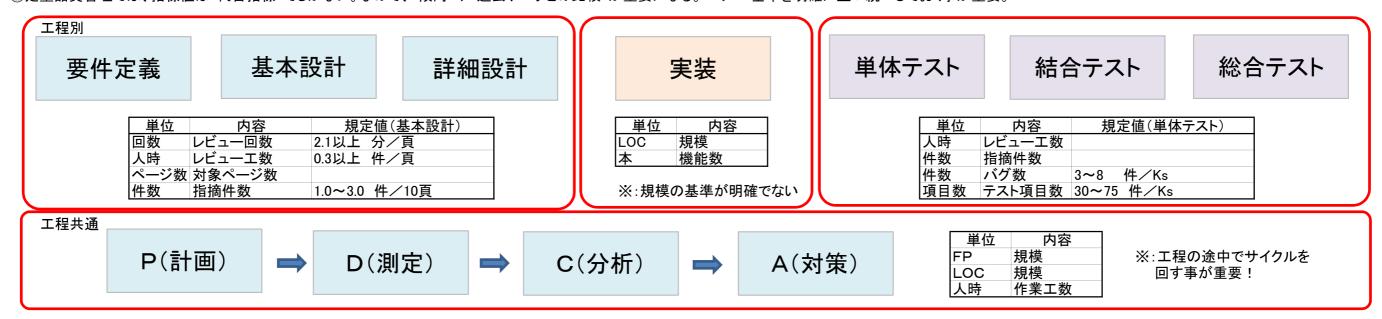
品質管理:定量分析入門 概念編

<概要>

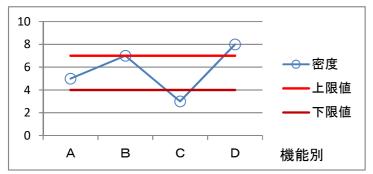
- ①本来の目的 一> 品質問題を早期に発見し、余裕を持って対策を実施すること。データを"開発の途上で活用"する事が重要。
- ②定量品質管理では、指標値は"代替指標"でしかない。なので、"傾向"や"過去データとの比較"が重要になる。 くー 基準を明確に且つ統一しておく事が重要。



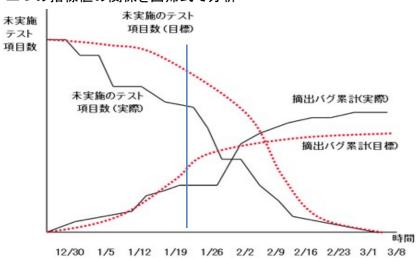
く代表的な分析モデル>

1. 管理図分析(閾値モデル)

データ分布が上限/下限値に対し、何処にプロットされるかで分析



3. 曲線近似分析(回帰モデル) 二つの指標値の関係を回帰式で分析



5. チェックリスト分析(チェックリストモデル) チェック項目を設定し対応状況を分析

サンプルは省略

2. ゾーン分析(ゾーンモデル)

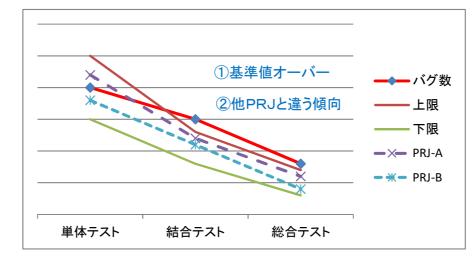
指標値により何処のゾーンに入るかで傾向を分析

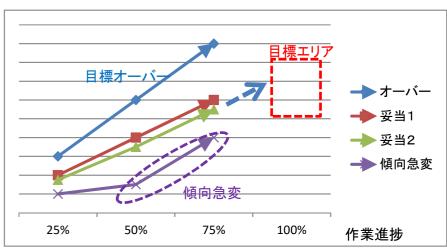
欠陥密度	8	5	6
	7	1	2
	9	3	4
	テスト密度		

ゾーン	前工程	品質	テスト内容	効率	判定
良①	0	0	0	_	良好
^ 2	0	×	?	×	テスト内容の分析が必要
3	0	?	×	_	テスト内容の分析が必要
4	0	×	×	×	テスト内容の分析が必要
5	×	0	×	_	前工程も含め、結果分析が必要
6	×	×	0	_	前工程も含め、結果分析が必要
7	×	?	×	_	テストが不足。前工程も含め、結果分析が必要
V 8	×	×	×	_	テストが不足。前工程も含め、結果分析が必要
悪 ⑨	?	?	×	_	テストが不足。品質の判断が出来ない

4. トレンド分析(トレンドモデル)

サブシステム間や過去のプロジェクトの例と比較する。又は、傾向から将来を予測する。





テスト工程のサンプル

課題が有ると掘り下げて分析していく

- ・原因別(正常系/異常系、仕様、単純ミス、類似、スキル不足 etc)
- 要員別(作業者による偏りとか)
- サブシステム間のバラツキ
- ・機能間のバラツキ(画面、帳票 etc 難易度別、規模別 etc)
- ・工程別 etc